

令和4(2022)年第4四半期(10~12月)国内概況および令和4(2022)年暦年国内概況

<令和4(2022)年第4四半期(10~12月)国内概況>

◆ 生産は弱含み。資源高、円安による物価上昇が続き、企業物価から消費者物価への転嫁が進む

2022年第4四半期の生産は、ウクライナ危機に伴う国内外の経済影響のため鉱工業生産指数（季節調整済み、2015年=100）が前期比3.1%低下の95.4と弱含みの動きが見られた。対応して、素材（粗鋼、エチレン、及びセメント）生産量は前年同期を3期連続で下回った。

国内企業物価指数は前年同期比9.8%、消費者物価指数は同3.9%上昇と大幅な値上がりが続く。前期に比べ消費者物価指数の伸び率が大きく、燃料費等の高騰による企業物価高が消費者価格へ転嫁されているといえる。（遠藤 聖也）

◆ 主要素材の生産量減少などにより一次エネルギー国内供給は前年同期比で減少

2022年第4四半期（10~12月）の一次エネルギー国内供給は、中国のロックダウンなどの影響を受けた主要素材の海外需要の低迷などによって、前年同期比5.3%減の104.5Mtoeとなり、3期連続で前年比減となった。

エネルギー供給源別にみると、石炭は粗鋼生産量の減少に伴い前年同期比3.8%減、石油はエチレンの生産量減少に伴い同5.1%減となった。また、産業用の電力需要が低迷したことなどにより、天然ガスも同8.4%と減少した。

原子力発電は、大飯3号、玄海3号、玄海4号が定期検査に入っている影響もあり、前年同期比18.6%減となったが、産業部門における化石燃料消費の減少の影響が大きく、二酸化炭素排出量は252.0 Mt-CO₂と、同4.6%減となった。（尾羽 秀晃）

◆ 生産活動鈍化や電気料金上昇を受け、第4四半期は期間を通して電力需要が減少

第4四半期の電力需要（電力広域的運営推進機関、10エリア合計）は、前年同期比2.9%減少した。景気減速に伴う生産活動の鈍化や、電気料金の上昇を受けた電力の使用控えが要因とみられる。

電力調査統計（2022年10月実績まで公表）による第3四半期の販売電力量は、同2.0%増加した。電灯は同4.1%増、低圧電力は同6.1%増となった。前年度よりも全国的に夏が暑かったことが要因とみられる。一方、高圧・特別高圧はともに同1.2%減少した。世界的な景気の減速感が見え始め、生産活動が鈍化したことが要因とみられる。発受電電力量は同0.3%減少した。定期点検等に伴い、原子力の発受電電力量は第2四半期に引き続いて前年同期を下回り、その減を補う形で火力が増加した。また、固定価格買取制度等による導入促進により、太陽光など再エネが増加した。（森本 大樹）

◆ 燃料油国内販売量は前年同期比で減少、ジェット燃料油は回復傾向、ナフサは需要低迷で減少

燃料油計の国内販売量は、前年同期比2.6%減の4,034万klとなった。油種別に見ると、ジェット燃料油は、国内航空の利用が回復基調で同12.2%増となり7期連続の増加、また、ガソリンは、前年の価格高騰による消費低迷で大きく落ち込んだ反動から同4.3%増となった。一方ナフサは、2022年はナフサを原料とするエチレンのプラント定期修理が重なった年であったが、その影響が薄れた年後半もエチレン需要の不振で、同14.9%減となり4期連続の減少となった。

燃料油計の国内生産量は、前年同期比1.9%増の3,901万klとなった。(恩田 知代子)

◆ 原油輸入量は前年同期比で増加、中東依存度は94.4%で12期連続90%超え

2022年第4四半期の原油輸入量は、前年同期比1.8%増の4,032万klとなり、うち中東からの原油輸入量は同4.0%増の3,805万klとなった。ウクライナ侵攻に伴うロシアへの経済制裁措置で、ロシア原油の輸入は6月以降停止しており(-186万kl)、アラブ首長国連邦 (+127万kl) やバーレーン (+24万kl)、オマーン(+22万kl)など中東からの輸入量が増大している。中東依存度は前年同期から2.1ポイント増の94.4%となり、12期連続で90%を超えている。

燃料油輸入は前年同期比6.8%減の903万klとなった。油種別に見ると、ガソリン (+32万kl)、灯油(+40万kl)は増加したものの、ナフサ(-105万kl)が大きく減少し、燃料油全体を押し下げた。燃料油輸出は同9.2%増の681万klとなった。(恩田 知代子)

◆ 2022年10～11月の都市ガス販売量は前年同期比-2.9%

2022年10～11月の都市ガス販売量は59.7億m³ (250.0 PJ, 1m³=41.8605MJ換算)で、前年同期比-2.9%となった。用途別で見ると、商業用が同+0.3%と微増であったほかは前年同月割れで、新型コロナウイルス感染症禍からの経済復調を背景に持ち直しが続いている工業用も同-3.2%と減少した。

LNG輸入量は前年同月が低水準であった10月こそ前年を上回ったものの、10～12月としては同-4.7%の16,697千tであった。特に電気事業者の消費減が効いたものと推測される。石炭輸入量は12月は回復したものの、一般炭価格の高騰や鉄鋼減産によるコークス需要の減少から同-4.9%となった。(柳澤 明)

＜令和4(2022)年暦年国内概況＞

◆ 資源高と円安により著しい物価高の一方、賃金の伸びは追いつかず。貿易赤字は過去最大に。

2022年は前年からの部材供給不足が長引いたことに加え、ウクライナ危機に伴う国内外経済減速が足かせとなり、鉱工業生産指数（2015=100）は前年比0.1%減の95.6となった。

物価は資源価格の上昇と円安の影響を受け著しい上昇基調にあり、国内企業物価指数は前年比9.7%増、消費者物価指数は同2.5%増で、とりわけ企業物価指数は第2次石油危機影響下の1980年以来最大の伸び率であった。企業物価から消費者物価への転嫁は十分に進んでいないといえる。一方で名目賃金指数は同1.4%増にとどまり、消費者物価の上昇に対して賃金の伸びもまた追いついていない状況にある。

貿易収支（通関ベース）は20.0兆円の赤字と過去最大であり、資源高と円安によって膨らんだ鉱物性燃料輸入（33.4兆円、前年比96.8%増）が輸入額を著しく増大させた。（遠藤 聖也）

◆ 年末の主要素材の生産量減少などにより一次エネルギー国内供給は前年比で減少

2022年の一次エネルギー国内供給は、前年比1.3%減の423.5Mtoeとなった。2022年第3四半期（7月-9月）においては、半導体不足による影響を受けていた自動車産業における生産量が回復しつつあったが、第4四半期（10月-12月）は外需の低迷などによるエチレンや粗鋼などの主要素材の生産量が減少した。これにより、2022年通年では、石炭は前年比0.4%減、石油は0.7%減、天然ガスは2.2%減と、いずれの化石燃料においても前年比で減少した。

一次電力においては、固定価格買取制度により、太陽光発電が前年比6.2%増となったが、原子力発電は、大飯原発と玄海原発が定期検査に入った影響もあり、同34.4%減となった。

前年と比較して産業部門における化石燃料消費は減少したものの、原子力発電所の稼働が減少した影響もあり、二酸化炭素排出量は1,010.7Mt-CO₂と、前年比0.1%と微増となった。

（尾羽 秀晃）

◆ 電力需要はコロナ禍前を上回る水準となったものの、今後の動向は不透明

2022年の電力需要（電力広域的運営推進機関、10エリア合計）は、前年比1.4%増となり、コロナ禍前の2019年を上回る水準となった。前年に比べ冬が寒く、夏が暑かったことが要因とみられる。一方、生産活動鈍化や電気料金上昇を受けてか、直近の第4四半期実績は前年同期を下回っており、今後の動向は不透明な状況にある。

統計（電力調査統計）が利用可能な2022年1月～10の販売電力量は前年同期比1.1%増加した。前年に比べ冬が寒く、夏が暑かったことで、電灯は同3.3%増、低圧電力は同2.8%増となった。また、後半には失速感があった中でも、期間を通じて景気回復が続いたことで、高圧・特別高

圧とともに同0.1%減にとどまった。発受電電力量は、電気事業者の発電量と電気事業者以外からの受電量の和が同1.0%増、単純和では二重計上される部分がある受電の「その他」を除くと同2.2%増となった。定期点検等に伴い、原子力の発受電電力量が同16.5%減少し、その減を補う形で火力が増加した。また、太陽光が同10%を超える増加となり、再エネの継続的な増加をけん引した。(森本 大樹)

◆ 燃料油計の国内販売量は前年比で減少、国内生産量は前年比で増加

2022年の燃料油計の国内販売量は、前年比1.7%減の15,158万klとなった。油種別にみると、ジェット燃料油、A重油、B/C重油がいずれも前年値を上回った。ジェット燃料油は、航空機の国内線需要が増加し国内販売量の増加に繋がった。B/C重油は、産業用需要は減少傾向だが、発電用需要が伸びた。しかし、ナフサはエチレンプラントの大規模定期修理が2022年は多かったことから需要が減少、他の油種は、原油価格の高騰で消費が低迷し、燃料油の国内販売量全体を押し下げた。

燃料油計の国内生産量は、前年比8.4%増の15,008万klとなった。(恩田 知代子)

◆ 原油輸入量は前年比で増加、中東依存度は94.1%となり6年連続で上昇

2022年の原油輸入量は、前年比9.7%増の15,864万klとなり、うち中東からの原油輸入量は同11.3%増の14,927万klとなった。ウクライナ侵攻に伴うロシアへの経済制裁措置で、ロシア原油の輸入は6月以降停止しており(-312万kl)、アラブ首長国連邦(+956万kl)、サウジアラビア(+385万kl)からの輸入量が増大した。中東依存度は94.1%となり、6年連続で上昇を続けている。原油処理量は、前年比8.2%増の15,658万klとなった。

燃料油輸入は前年比16.3%減の3,275万klとなり、ナフサ(-480万kl)の減少が大きく寄与した。

燃料油輸出は同28.4%増の2,854万klとなった。(恩田 知代子)

◆ 都市ガス需要は、新型コロナウイルス感染症禍からの経済回復により、2022年1月～11月は前年同月比+2.7%となった。

2022年1月～11月累計の都市ガス販売量は、前年同期比+2.7%の377.4億m³ (1,579.7PJ, 1m³=41.8605MJ換算)となった。11月に販売量が大きく落ち込んだ一因である経済の弱含みは12月も続いたが気温は前年同月より低下したことから、通年でも前年を大きく割り込むことはないと見込まれる。1月～11月を用途別に見ると、最大用途の工業用が同+3.4%、商業用が同+7.3%、その他用が同+5.0%で、11月を除けば堅調であった。一方、家庭用は年初の低温影響で増加したものの、夏季の高温と在宅率の低下から同-1.2%となった。

2022年のLNG輸入量は前年比-3.1%と5年連続で減少した。水準としては71,998tと、東日

本大震災があった 2011 年以降で最少となった。その中でも、ロシアからの輸入は同+4.6%の 6,869t となり、依存度は前年の 8.8%から 9.5%へと上昇した。ロシアからの LNG はウクライナ 侵攻にかかる経済制裁の対象外とする日本であるが、2023 年 1 月以降は貿易保険額の上限制約による影響がどの程度現れるか関心を集めている。(柳澤 明)

お問い合わせ: report@tky.ieej.or.jp

経済動向、エネルギー需給の推移（四半期ベース）

		2021Q4	2022Q1	2022Q2	2022Q3	2022Q4	伸び率(%)				
主要経済指標等	実質GDP(2015年基準10億円)	544,416	541,965	547,946	546,815	n.a.	2021Q4	2022Q1	2022Q2	2022Q3	2022Q4
		551,927	552,910	558,196	554,126	n.a.	1.2	-0.5	1.1	-0.2	n.a.
鉱工業生産指数(2015年=100)	94.9	95.7	93.1	98.5	95.4	0.9	0.2	1.0	-0.7	n.a.	
素材系生産量(千t)						0.2	0.8	-2.7	5.8	-3.1	
粗鋼	24,202	23,012	22,984	21,820	21,421	10.1	-2.9	-5.6	-9.4	-11.5	
エチレン	1,680	1,347	1,290	1,388	1,424	5.2	-15.5	-16.0	-9.8	-15.3	
セメント	13,420	12,226	11,779	11,768	12,699	-5.5	2.1	-2.4	-6.7	-5.4	
紙・板紙	6,079	5,989	5,908	5,891	n.a.	2.2	1.3	-1.3	-1.1	n.a.	
国内企業物価指数(2020年=100)	108.2	110.4	113.6	115.9	119.0	8.6	9.3	9.6	9.7	10.0	
消費者物価指数(2020年=100)	100.0	100.7	101.7	102.7	103.9	0.5	0.9	2.4	2.9	3.9	
為替相場(日銀)(¥/\$)	113.70	116.18	129.56	138.34	141.46	3.3	2.2	11.5	6.8	2.3	
暖房度日(度日)	257	678	38	-	257	-0.8	24.2	26.7	n.a.	0.0	
冷房度日(度日)	17	-	66	434	7	n.a.	n.a.	127.6	20.2	-58.8	
国内供給(ktoe)	110,337	115,755	96,732	106,484	104,488	4.1	1.5	-0.9	-0.7	-5.3	
石炭	30,275	31,980	24,885	31,263	29,113	8.8	3.5	-3.3	1.3	-3.8	
石油	43,587	42,712	37,313	38,014	41,368	5.0	0.4	3.3	-0.6	-5.1	
原油(国産を含む)	36,550	36,633	34,566	36,195	36,934	7.9	8.7	17.4	7.2	1.1	
石油製品	7,037	6,079	2,747	1,819	4,872	-7.8	-31.3	-58.7	-59.3	-30.8	
ガス(天然ガス、LNG)	24,171	28,915	20,902	23,144	22,131	-11.7	-2.3	0.3	2.3	-8.4	
国産天然ガス	591	639	488	492	533	-4.8	-0.7	-12.8	-2.3	-9.8	
LNG	23,580	28,276	20,415	22,652	21,818	-11.9	-2.4	0.7	2.4	-7.5	
水力	3,024	2,912	n.a.	n.a.	n.a.	4.7	-12.4	n.a.	n.a.	n.a.	
原子力	3,751	3,350	1,932	2,750	3,052	237.8	71.1	-39.9	-33.9	-18.6	
新エネルギー等	5,527	5,887	n.a.	n.a.	n.a.	5.8	3.0	n.a.	n.a.	n.a.	
CO ₂ 排出量(Mt-CO ₂)	264.0	281.2	224.2	253.3	252.0	2.9	2.3	1.3	1.4	-4.6	
発受電力量(百万kWh)	315,508	344,032	286,268	341,469	n.a.	3.4	5.5	0.6	-0.3	n.a.	
水力	17,074	16,719	27,544	26,813	n.a.	8.3	-8.0	-2.3	-3.4	n.a.	
火力	180,796	206,558	148,160	187,672	n.a.	-4.5	3.0	3.1	6.1	n.a.	
原子力	17,567	15,697	9,009	12,826	n.a.	240.2	71.5	-40.1	-34.1	n.a.	
新エネルギー等	26,309	27,084	35,389	31,951	n.a.	13.5	7.9	10.6	11.9	n.a.	
太陽光	19,886	19,705	26,712	24,297	n.a.	15.7	8.7	9.8	11.5	n.a.	
その他	73,768	77,973	66,166	82,207	n.a.	2.8	6.4	0.7	-9.1	n.a.	
燃料消費						4.3	5.4	-0.5	5.8	n.a.	
電力需給	石炭(千t)	28,579	30,534	20,691	30,643	n.a.	-6.9	-48.7	86.6	20.0	n.a.
	原油(千kl)	94	84	31	42	n.a.	55.4	92.3	101.3	89.3	n.a.
	重油(千kl)	1,364	2,108	1,025	1,354	n.a.	-18.7	-5.8	-0.2	0.1	n.a.
	LNG(千t)	10,330	12,181	9,092	10,241	n.a.	0.0	10.6	33.0	28.0	n.a.
	都市ガス(千m ³)	1,415	1,696	1,285	1,646	n.a.	1.7	3.5	-0.2	2.0	n.a.
電力販売	販売電力量(百万kWh)	207,935	246,430	198,475	232,918	n.a.	1.0	5.0	-0.2	4.4	n.a.
	低圧	69,033	104,012	64,751	78,340	n.a.	1.1	5.2	-0.2	4.1	n.a.
	電灯	61,493	93,512	57,510	68,195	n.a.	0.1	2.4	-0.1	6.1	n.a.
	電力	7,541	10,501	7,241	10,145	n.a.	1.1	2.9	-0.3	-1.2	n.a.
	高圧	71,422	76,679	67,008	80,101	n.a.	3.0	2.9	-0.5	-1.2	n.a.
	特別高圧	55,792	54,415	55,101	59,102	n.a.	1.4	4.2	0.9	3.1	-2.9
	電力需要(百万kWh)※ ¹	217,803	243,253	197,223	235,741	211,565	1.8	4.6	3.3	3.4	n.a.
都市ガス販売	都市ガス販売量(万m ³)※ ²	999,077	1,304,280	935,085	937,021	n.a.	-0.6	1.8	-0.7	-10.3	n.a.
	家庭用	220,043	404,886	234,178	117,162	n.a.	-2.2	7.0	10.8	8.7	n.a.
	商業用	83,506	118,273	81,410	103,254	n.a.	2.9	5.7	3.9	4.8	n.a.
	工業用	627,412	674,100	560,640	624,557	n.a.	4.7	6.3	4.1	9.3	n.a.
	その他用	68,116	107,021	58,858	92,048	n.a.	0.5	-1.7	-2.5	0.1	-2.6
石油製品販売	燃料油販売	41,412	40,864	33,951	36,432	40,335	-8.8	-2.4	-1.9	0.0	4.3
	ガソリン(千kl)	11,032	10,556	10,770	11,943	11,512	11.8	-10.6	-12.3	-6.9	-14.9
	ナフサ(千kl)	11,790	9,581	8,709	9,653	10,039	8.6	21.1	25.5	21.6	12.2
	ジェット燃料油(千kl)	864	790	941	1,104	970	-9.7	0.2	-14.7	-12.0	-1.3
	灯油(千kl)	4,295	6,124	1,519	1,159	4,239	-1.5	-0.8	-1.0	2.1	-1.0
	軽油(千kl)	8,348	7,995	7,690	8,130	8,267	-1.2	4.4	5.2	9.4	3.2
	A重油(千kl)	2,744	3,189	2,267	2,237	2,833	34.1	20.4	40.1	19.5	5.8
	B/C重油(千kl)	2,338	2,629	2,054	2,205	2,474	95.2	77.0	115.6	86.3	n.a.
	うち電力向け(千kl)	1,210	1,921	1,169	1,331	n.a.	2.9	3.7	6.2	6.9	11.1
	LPG(千t)	2,708	3,253	2,595	2,356	3,009	13.1	11.9	11.2	14.8	1.8
需給	輸入量(千kl)	39,619	39,999	37,599	40,727	40,316	[0.4]	[-0.6]	[1.8]	[2.4]	[2.1]
	中東依存度(%)	92.3	91.8	94.3	95.9	94.4	5.9	7.7	16.2	8.8	1.7
	原油処理量(千kl)	39,041	39,740	37,353	39,769	39,713	2.7	1.9	10.6	7.5	4.4
エネルギー価格	通関レート(¥/\$)	113.11	115.21	127.47	137.06	143.10	10.3	6.7	28.5	2.2	-11.5
	原油価格(輸入CIF、\$/bbl)	80.72	86.11	110.67	113.08	100.12	34.5	7.8	4.3	30.4	-5.0
	LNG価格(輸入CIF、\$/t)	710.80	766.44	799.26	1,041.88	990.02	28.9	7.0	54.1	26.2	3.3
	一般炭価格(輸入CIF、\$/t)	181.91	194.61	299.92	378.44	390.96	119.9	80.9	130.8	121.2	66.9
	化石燃料輸入額(億円)	56,412	63,437	79,413	97,759	94,159					

注：伸び率は前年同期比。但し()内は前期比、[]内は前年同期差。※¹電力広域の運営推進機関が発表する流通需要。※²都市ガス販売量は1m³=41.8605MJ換算

経済動向、エネルギー需給の推移（暦年ベース）

		2018	2019	2020	2021	2022	伸び率(%)				
		2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022
主要経済指標等	実質GDP(2015年基準10億円)	554,767	552,535	528,895	540,226	n.a.	0.6	-0.4	-4.3	2.1	n.a.
	名目GDP(10億円)	556,630	557,911	539,082	549,379	n.a.	0.6	0.2	-3.4	1.9	n.a.
	鉱工業生産指数(2015年=100)	104.2	101.1	90.6	95.7	95.6	1.1	-3.0	-10.4	5.6	-0.1
	素材系生産量(千t)										
	粗鋼	104,319	99,284	83,186	96,336	89,238	-0.3	-4.8	-16.2	15.8	-7.4
	エチレン	6,157	6,418	5,943	6,349	5,449	-5.7	4.2	-7.4	6.8	-14.2
	セメント	55,307	53,462	50,905	50,083	48,473	0.2	-3.3	-4.8	-1.6	-3.2
	紙・板紙	26,056	25,401	22,869	23,939	n.a.	-1.7	-2.5	-10.0	4.7	n.a.
	国内企業物価指数(2020年=100)	101.0	101.2	100.0	104.6	114.7	2.6	0.2	-1.2	4.6	9.7
	消費者物価指数(2020年=100)	99.5	100.0	100.0	99.8	102.3	0.9	0.5	0.0	-0.2	2.5
一次エネルギー	為替相場(日銀)(¥/\$)	110.39	109.01	106.78	109.80	131.38	-1.6	-1.2	-2.0	2.8	19.7
	暖房度日(度日)	956	893	840	834	973	-9.9	-6.5	-6.0	-0.8	16.7
	冷房度日(度日)	489	439	442	407	506	23.2	-10.2	0.6	-8.0	24.4
	国内供給(ktoe)	460,074	448,540	415,949	429,158	423,458	-1.4	-2.5	-7.3	3.2	-1.3
	石炭	121,937	120,049	110,573	117,770	117,241	-2.0	-1.5	-7.9	6.5	-0.4
	石油	180,306	172,850	155,915	160,489	159,407	-3.2	-4.1	-9.8	2.9	-0.7
	原油(国産を含む)	163,527	161,448	132,867	133,482	144,328	-5.0	-1.3	-17.7	0.5	8.1
	石油製品	16,779	11,402	23,047	27,006	15,517	19.1	-32.0	102.1	17.2	-42.5
	ガス(天然ガス、LNG)	108,821	104,098	101,270	97,245	95,093	-3.3	-4.3	-2.7	-4.0	-2.2
	国産天然ガス	2,791	2,522	2,403	2,298	2,152	-11.6	-9.6	-4.8	-4.4	-6.3
電力需給	LNG	106,030	101,575	98,867	94,947	93,161	-3.1	-4.2	-2.7	-4.0	-1.9
	水力	17,411	15,769	16,611	16,730	15,952	1.6	-9.4	5.3	0.7	-4.7
	原子力	10,556	14,017	9,199	13,089	11,085	66.8	32.8	-34.4	42.3	-15.3
	新エネルギー等	21,043	21,757	22,382	23,835	24,681	6.7	3.4	2.9	6.5	3.5
	CO ₂ 排出量(Mt-CO ₂)	1,104.3	1,064.2	981.3	1,010.1	1,010.7	-2.9	-3.6	-7.8	2.9	0.1
	発電電力量(百万kWh)	1,137,007	1,221,645	1,222,190	1,269,063	n.a.	11.5	7.4	0.0	3.8	n.a.
	水力	321,013	431,371	464,946	502,206	n.a.	264.7	34.4	7.8	8.0	n.a.
	火力	91,066	83,194	88,577	91,202	n.a.	-88.5	-8.6	6.5	3.0	n.a.
	原子力	750,648	705,912	692,426	681,220	n.a.	2481.9	-6.0	-1.9	-1.6	n.a.
	新エネルギー等	762,597	718,410	707,119	701,873	n.a.	1033.8	-5.8	-1.6	-0.7	n.a.
都市販売市売ガス	太陽光	63,853	71,645	81,519	93,602	n.a.	n.a.	12.2	13.8	14.8	n.a.
	その他	63,295	80,427	60,512	85,656	n.a.	51.9	27.1	-24.8	41.6	n.a.
	燃料消費										
	石炭(千t)	111,707	108,511	106,158	107,291	n.a.	-1.8	-2.9	-2.2	1.1	n.a.
	原油(千kl)	1,223	189	187	310	n.a.	-31.8	-84.5	-1.3	66.2	n.a.
	重油(千kl)	5,383	3,395	2,705	3,684	n.a.	-13.5	-36.9	-20.3	36.2	n.a.
	LNG(千t)	51,396	47,589	46,487	42,597	n.a.	-4.3	-7.4	-2.3	-8.4	n.a.
	都市ガス(千m ³)	4,367	4,192	4,852	5,200	n.a.	n.a.	-4.0	15.7	7.2	n.a.
	電力需要(百万kWh)	908,360	883,024	857,859	873,260	n.a.	0.2	-2.8	-2.8	1.8	n.a.
	低圧	313,344	305,129	306,524	308,090	n.a.	0.3	-2.6	0.5	0.5	n.a.
石油製品販売	電灯	275,613	269,024	271,775	273,482	n.a.	0.3	-2.4	1.0	0.6	n.a.
	電力	37,731	36,078	34,749	34,607	n.a.	0.1	-4.4	-3.7	-0.4	n.a.
	高圧	309,324	303,136	290,717	294,141	n.a.	0.4	-2.0	-4.1	1.2	n.a.
	特別高圧	237,093	231,359	216,720	223,886	n.a.	1.7	-2.4	-6.3	3.3	n.a.
	電力需要(百万kWh)※ ¹	905,790	885,472	863,844	875,409	887,782	1.1	-2.2	-2.4	1.3	1.4
	都市ガス販売量(万m ³)※ ²	4,197,293	4,095,987	3,898,786	4,057,467	n.a.	-0.4	-2.4	-4.8	4.1	n.a.
	家庭用	941,688	948,337	969,925	984,250	n.a.	-3.2	0.7	2.3	1.5	n.a.
	商業用	431,530	422,480	370,409	362,441	n.a.	-0.2	-2.1	-12.3	-2.2	n.a.
	工業用	2,497,970	2,416,843	2,258,593	2,401,147	n.a.	0.6	-3.2	-6.5	6.3	n.a.
	その他用	326,104	308,328	299,859	309,628	n.a.	-0.1	-5.5	-2.7	3.3	n.a.
需原油	燃料油販売(千t)	169,779	165,316	151,715	154,215	151,582	-3.3	-2.6	-8.2	1.6	-1.7
	ガソリン	50,999	49,651	46,052	44,768	44,781	-1.7	-2.6	-7.3	-2.8	0.0
	ナフサ	43,330	43,769	40,055	42,791	37,982	-5.7	1.0	-8.5	6.8	-11.2
	ジェット燃料油	4,848	5,199	3,245	3,175	3,806	-7.5	7.2	-37.6	-2.2	19.9
	灯油	15,358	14,355	14,075	13,509	13,042	-7.9	-6.5	-2.0	-4.0	-3.5
	軽油	33,852	33,977	32,037	32,140	32,082	0.6	0.4	-5.7	0.3	-0.2
	A重油	11,364	10,621	10,028	10,000	10,527	-1.3	-6.5	-5.6	-0.3	5.3
	B/C重油	10,029	7,744	6,224	7,833	9,363	-5.9	-22.8	-19.6	25.9	19.5
	うち電力向け	5,457	3,027	2,087	3,552	n.a.	-9.7	-44.5	-31.0	70.2	n.a.
	LPG(千t)	11,961	10,937	10,303	10,492	11,213	-5.0	-8.6	-5.8	1.8	6.9
エネルギー価格	輸入量(千kl)	177,477	175,489	143,880	144,663	158,642	-5.4	-1.1	-18.0	0.5	9.7
	中東依存度(%)	88.2	88.9	92.0	92.7	94.1	[1.5]	[0.7]	[3.1]	[0.7]	[1.4]
	原油処理量(千kl)	177,771	177,048	145,230	144,648	156,576	-4.8	-0.4	-18.0	-0.4	8.2
	通関レート(¥/\$)	110.48	109.06	106.99	109.38	130.71	-1.6	-1.3	-1.9	2.2	19.5
エネルギー価格	原油価格(輸入CIF、\$/bbl)	72.86	66.81	47.28	69.78	103.06	34.4	-8.3	-29.2	47.6	47.7
	LNG価格(輸入CIF、\$/t)	517.72	515.79	402.30	526.19	897.84	24.2	-0.4	-22.0	30.8	70.6
	一般炭価格(輸入CIF、\$/t)	118.36	108.53	80.80	132.84	321.72	19.4	-8.3	-25.6	64.4	142.2
	化石燃料輸入額(億円)	192,940	169,506	112,541	170,071	334,768	21.8	-12.1	-33.6	51.1	96.8

注:伸び率は前年比、□内は前年差。※¹電力広域の運営推進機関が発表する流通需要。※²都市ガス販売量は1m³=41.8605MJ換算